

熱川温泉病院 勝野 友基子(言語聴覚士)

功 績 ST勝野友基子は、この地域には無かったST訪問リハビリを立ち上げ、STの啓発活動を行い新規利用の開拓から始め、一年で軌道に乗せた。また、勉強会講師を務め、当院のリハビリ指針が地域に活かされるという貢献もした。さらに在宅での嚥下訓練も開始しており、この地域初の開拓者としての役割を果たしている功績。

推 薦 者 小山内 隆 (リハビリ部長)

推 薦 理 由 勝野によるST訪問リハビリは、行政や各施設から、情報提供依頼や問い合わせが多く来ており、賀茂圏域で正に的を得た新規事業となりました。特に立ち上げ時には大きなエネルギーを要し、院内と訪問とを両立させる苦労も多々あったかと思えます。その努力と功績に対し、勝野を理事長賞にご推薦申し上げます。

内 容

当院が立地する伊豆の東海岸地域は、回復期リハビリ病棟の増加が目立ちますが、ST科を有する病院は当院を含め2ヶ所のみです。しかも、STが在宅部門で訪問リハビリに出ることはまずない、それがこの地域周辺の常識でした。

しかし、勝野は当院での経験から、地域のニーズを肌で感じていました。

一昨年春にリハビリテーション部で在宅部門を立ち上げましたが、その後、当院の強みとして「ST訪問リハビリ」を打ち出し、勝野が名乗りを上げました。しかし一からの出発なので、勝野自身がパンフレットを携えて、手さぐりで、各機関・施設に飛び込みの啓発活動を繰り返し、苦労しながら新規事業を立ち上げました。

その甲斐あって、南伊豆のケアプランセンターとの連携を皮切りに、訪問要請がコンスタントに入り、開始から1年1ヵ月で、賀茂圏域で7名実施(内4名訓練終了)に至り、新たな要請も入って、事業拡大に向かう状況です。また、関係者から要望が高まり、「口腔ケア勉強会」を各方面で開催して、当院リハビリで打ちたてた指針が、地域に共有されつつある状況が現れてきています。

訪問での訓練内容は、失語症訓練・構音訓練が主でしたが、嚥下訓練(食べる訓練)も在宅で開始しています。地域初のSTの訪問リハビリだけでなく、在宅で嚥下訓練まで実施することが、さらに評判を呼んでいます。